

(様式1)

国東市立武蔵西小学校 校長 溝部 剛

平成31年度 学校評価の4点セット

( 4月計画 ・ 7月評価 ・ 9月計画 ・ 12月評価 ・ 1月計画 ・ 年度末評価 )

学校の教育目標: 郷土に誇りを持ち、目標を定め 考えを表現し 互いを認め合う 西っ子の育成

学校の教育目標 実現のための 喫緊の課題を 踏まえた 重点目標	重点目標に係る 目指すべき子どもの 姿となる 達成指標	達成指標を達成する または近づくための 重点的取組 ※到達像不要	重点的取組に係る 具体的な 取組指標 ※誰が、何を、どれくらいの頻度で	担当	検証・改善				
					取組指標に対する 取組状況の確認		達成指標に対する 達成状況の確認		改善方策
					SAB 評価	取組状況(エビデンス)	SAB 評価	達成状況(エビデンス)	
確かな学力の定着と活用力の向上	○算数の単元テストで目標値を超えた児童の割合を90%以上にする。 (H30) 1学期 90%(97%) 84% 2学期 90%(90%) 3学期 90%(89%) ○市学力調査の算数(活用)の力を伸ばす。 ・昨年度、全国平均を超えた児童は本年度も全国平均を上回るようにする。(12/13) ・全国平均に達しなかった児童は昨年度より10ポイント上回るようにする。(1/13) H30 全国平均を上回った児童14/15 全国平均に達しなかった児童1/15	学校 ○西小スタンダード(つかむ一考する一深める一まとめる一振り返る)の授業の中で、「つかむ」(課題)の提示の仕方の充実を図る。 ○「深める」(交流場面)で、自分の考えを深めるための話し合い活動の充実を図る。	○算数の授業で授業者が、「子どもの興味・関心を高めるための課題の提示の仕方を工夫できた」と判断できた時間数を実施時間数(事前調査・練習・テストを除く)の75%以上にする。	研究(溝部)・教務(信原)					
			○算数授業の交流場面において授業者が、「子どもが自分の考えを深めるための話し合い活動」を設定できた時間数を実施時間数(事前調査・練習・テストを除く)の70%以上にする。 ・友だちの考えを想像して説明する活動を、「考えを深めるための話し合い活動」の設定時間の50%以上実施する。						
		家庭 ○家庭学習の充実を図る。	○単元ごとに、算数・国語の学習個人カルテを確認し、毎回子どもに声掛けを行った保護者を54%以上(7/13)にする。(H30・48%) ・学習個人カルテに担任が添え書きしてくれたコメントを手掛かりに声掛けを行う。 ・拡大運営協議会・運営協議会で決定した内容と「声掛けの実践例」「子どもからの意見」(配布された資料)を参考に取組みを実施する。						
			地域 ○学習アドバイザーの取り組みの充実を図る。 ○「放課後学びの教室」(毎週水曜)の学習に、学習個人カルテの内容を活用する。 ・担任との間で毎回、児童学習状況連絡票を交換し、学校と連携して指導に当たる。 ○「ぐんぐんタイム」(朝週2回20分、月・金)に学習アドバイザーが3人参加する。 ・アドバイザーと学校との情報連絡をその都度持つ。 ○「読み聞かせ」(隔週木曜)に3人ずつ参加する。						
郷土に誇りを持ち、豊かな心と実践力の育成	○生活振り返りカードであいさつ運動に取り組んだ児童の割合を増やす。 1学期 85% 5月:84.6% 6月:98.4% 7月:100% 2学期 90% 3学期 95% ○「友だちのいい所見つけが月4回以上できた」児童の割合を増やす。 1学期 70% (9/13) 4・5月【46%】(6/13) 6・7月【100%】(13/13) 2学期 77% (10/13) 3学期 85% (11/13)	学校 ○「生活振り返りカード」を活用して、自分から進んで活動する子どもを育成する。 ○「友だちのいい所見つけカード」を活用して、進んで人のいいところを見つけることのできる子どもを育成する。	○担任が毎月一週間実施の「生活振り返りカード」を活用し、あいさつ運動に取り組めたか振り返らせ、生活指導主任が児童会と連携しながら指導する。 ○掲示物の継続・工夫をし、褒賞の機会をつくる。 ○拡大運営協議会・運営協議会の話し合いを受けて、取組状況や取組内容を家庭に配布し、保護者との連携を図る。	生活(岩尾) 児童会(信原)					
			○郷土に誇りを持ち、地域について学習を深める。		○学期に1回以上「ふるさと偉人伝」「地域の文化・産業・生活」「西地区の歴史遺産」の学習に取り組む。				
		家庭 ○基本的な生活習慣の確立を目指す。	○それぞれの家庭で子どもができる仕事を決め、毎月一週間の生活振り返りカードを活用して各家庭で声掛けを行う。 ○早寝・早起き・朝ご飯の取組を毎月一週間の生活振り返りカードを活用してチェックし声掛けを行う。						
			地域 ○子どもを見かけたら、あいさつをする。 ○環境整備に協力する。		○毎月第1月曜日に老人クラブが3名で正門前あいさつ運動を行う。 ○麻田老人クラブの松の芽摘みの活動等、学校の環境整備に積極的に参加する。				

S:100%超 A:80~100% B:80%未満